

自然から学ぶ（若者へのゆるやかな広がり）

徐々にではありますが、自然に親しんで自然から様々な知識を学ぶ若者が増えてきております。門真市の中学生、龍谷大学生、千葉から訪れた親子、天満からの親子、京大大学院生等「八幡たけくらぶ」の活動に参加して自然との交流を深める中で最近活動に参加された3つの事例をご紹介します。

① 千葉から来た小6のお嬢さんは、エジソンが電球のフィラメントを発明した際八幡のマダケが最も長く光ったというエジソンの雑誌を読んでエジソン電球の再現にチャレンジして来ました。試行錯誤の末、まだまだ充分とはいえませんが電球が光る状態にまで辿り着き、科学実験に関する立派なレポートを小学6年生でまとめました。（HP別項参照）



② 天満からは、子供の教育には自然と親しませるのが最も重要ではないかという親御さんの強い気持ちで竹林整備に参加されました。5歳になるお子さんでしたが、会員の作業をじっと目に焼き付けて、家に帰った後も竹林整備ごっこをしていたそうです。よほど楽しかったのでしょう。



③ 京大農学研究科の大学院生の小林さんは、竹の生態(生き様)に興味を持って研究されているということで、八幡の竹林を見学しに来られました。一緒に間伐作業をして汗を流し、たけくらぶのメンバーのパワフルさに驚いていました。何かと悪者扱いされがちな竹ですが、竹には不思議でよく分かっていないことがたくさんあるということで、今後の研究成果に期待したいと思います。